

2016年7月15日

全日本ジュニアテニス選手権出場選手並びに関係者の皆様
地域ジュニアテニス選手権関係者各位

公益財団法人 日本テニス協会
専務理事 内山 勝
ジュニア委員長 西村 覚



DUNLOP SRIXON 全日本ジュニアテニス選手権'16 ダブルス試合方法の変更について

拝啓 盛夏の候 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より、本協会事業に対しまして、種々のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、全日本ジュニアテニス選手権は、国内ジュニアにとって最大の目標となる大会です。しかしながら、前後の過密スケジュールは、かねてより選手への負担の大きさが指摘されてきました。近年の大会数の増加、学校の長期休暇の短縮等は、より一層の過密なスケジュールをもたらしています。さらに、地球温暖化に伴う夏場の気温上昇は、選手により一層の負担をかけていると考えられています。

その中で、6月30日、日本テニス協会は日本体育協会より「熱中症事故の防止について」と題した加盟・準加盟団体宛文書を受領し、中央競技団体として「関連するスポーツ大会や各種事業における熱中症事故の防止にご留意」するようにとの通知を受けました。近年の夏場の熱中症による事故の増加とその危険性が叫ばれる中で、何らかの形で対策を講じることは中央競技団体として急務であるといえます。

そこで本協会は、ジュニア委員会、本部長会議の審議を経て、昨日の平成28年度第4回常務理事会にて今年度の大会よりダブルスの試合方法をジュニアの国際大会に於いても一般的に採用されている「ノーアド方式、ファイナルセットマッチタイブレーク(10ポイント)」に変更することで選手の負担の低減を図る下記の決議を行いました。全日本ジュニア選手権では、多くの選手がシングルスとダブルスに重複してエントリーしています。特にリスクの高いと考えられるこれらの選手の身体的負担を低減することにより、事故発生のリスクを低下させることにつながると考えます。

選手の皆さんの健康と安全を守るための措置であることをご理解いただき、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

全日本ジュニアテニス選手権 ダブルスの試合方法を下記のように変更する

現 行 3 タイブレークセット



変 更 ノーアド方式、ファイナルセットマッチタイブレーク(10ポイント)

以上